

令和6年度 第3回 経営協議会議事要録

日 時 令和6年7月25日（木）16時00分～17時30分

開催方法 Web会議（Zoom）

出席者 【委員】中野学長

青木（玲）委員、朝霧委員、荒木委員、木下委員、内藤委員、
平子委員、福原委員、森本委員、大月委員、青木（人）委員、
蜂谷委員、竹下委員、祝迫委員

【陪席者】林理事、大井監事、小笠原監事、
稲葉副学長、野口副学長、三隅副学長

議事に先立ち、中野学長から、前回欠席した荒木委員の紹介がされ、同委員から挨拶があった。

I 前回議事要録の確認

1. 令和6年度第2回経営協議会議事要録について

中野学長から、令和6年度第2回経営協議会議事要録案について、資料1に基づき説明があり、確認の後、確定した。

II 審議事項

特になし

III 報告事項

1. 次期執行部（理事、副学長、学長補佐、役員補佐）について

中野学長から、次期執行部（理事、副学長、学長補佐、役員補佐）について、資料2に基づき報告があった。

2. 寄附金の受入状況について

大月理事・副学長から、寄附金の受入状況について、資料3に基づき報告があった。なお、以下のような意見交換が行われた。

○平子委員から、150周年に向けたイベントなどを行うにあたり、150周年記念募金の目標額の設定について、質問があった。

これに対し、中野学長から、2027年までに40億円の目標額を設定していること、また、学生向けの施設の設置も含めたキャンパス再開発を主眼に置きつつ、各種記念事業は基金運営委員会に諮って予算化している、との説明を行った。

○森本委員から、エグゼクティブプログラムの費用と収益の比について、質問があった。

これに対し、中野学長及び大月理事から、資料にある収入は人件費等の費用を差し引いた純利益であり、また、エグゼクティブプログラムは本学教員が兼業の形で行っており、場所も千代田キャンパスのため、マンパワーや時間面に制約がある、との説明を行った。

IV その他

1. 指定国立大学法人構想の展開について

中野学長から、指定国立大学法人構想の展開について、資料4に基づき報告があった。なお、以下のような意見交換が行われた。

○木下委員から、国際競争力向上に向けた取り組みの進捗状況について、質問があった。

これに対し、中野学長から、現在、Q1ジャーナル掲載率を2028年までに60%にするという、構想調書の提出時よりも高い目標を立てていることに付随して、研究力の強化が形になって表れてきている、との説明を行った。

○青木委員から、法学分野のジャーナル掲載数が伸びた要因について、質問があった。

これに対し、中野学長から、法学研究科長が同研究科の教員に本学の方針を伝えて働き掛けを行った結果、同研究科における科学研究費の申請件数・採択件数やジャーナル掲載数も増加した、との説明を行った。

2. 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）について

中野学長から、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）について、資料5に基づき報告があった。

3. SPRING事業について

稲葉副学長から、SPRING事業について、資料6に基づき報告があった。なお、以下のような意見交換が行われた。

○平子委員から、人文系博士人材の活躍について、修了後の進路のさらなる開拓、企業へのアプローチなど、本学独自の取組としてどのように対応することを考えているのか、との質問があった。

これに対し、中野学長から、企業側も以前より博士人材の活用について積極的に考え始めていると思われるが、実際に進めていく中では課題も多く、ヨーロッパ諸国で行われているインダストリアルPhDのような新たな取組が必要と考えられる、との説明を行った。

4. 国立大学協会声明について

中野学長から、6月に出された国立大学協会声明について、資料7に基づき報告があった。

5. 国の政策の動向について

中野学長から、国の政策の動向について、資料8に基づき報告があった。

中野学長から、令和6年8月末日をもって任期満了により退任等する出席者の紹介があり、各出席者から挨拶があった後、学長から謝辞が述べられた。

[配布資料]

- 1 令和6年度 第2回 経営協議会議事要録（案）
- 2 次期執行部（理事、副学長、学長補佐、役員補佐）について（令和6年9月1日付）
- 3 令和5年度 寄附金受入状況（令和6年3月31日現在）
- 4 指定国立大学法人構想の展開について
- 5 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）について
- 6 「The Bridge to the Future」一橋大学博士イノベーション人材育成プロジェクト
- 7 国立大学協会の声明を踏まえた学長メッセージ
- 8 国の政策の動向について